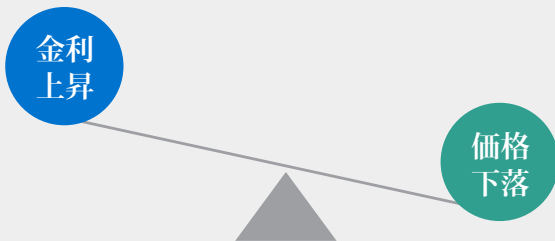


これだけは知っておきたい5つのこと ～金利編～

金利の動きを気にするのはお金を借りている人ばかりではありません。債券価格を決定する重要な要因でもある金利は、債券投資家も注視しています。債券に投資する場合、金利に関して知っておきたい5つの点をまとめました。

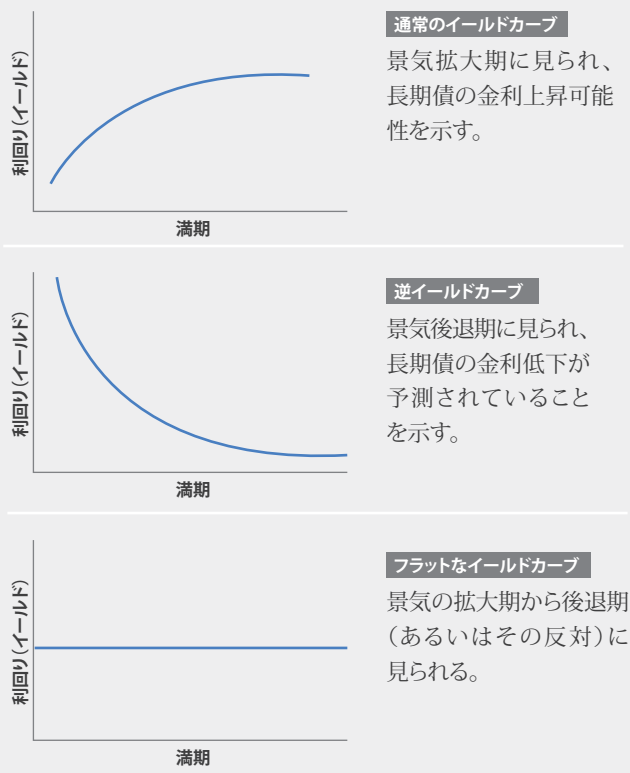
金利と債券価格

金利は債券価格を決定する重要な要素のひとつです。一般的に、金利が上昇した場合は、表面金利が低い古い債券は、投資する妙味が薄れるため債券価格が下落しますが（金利が低下した場合は、逆に債券価格は上昇します。）

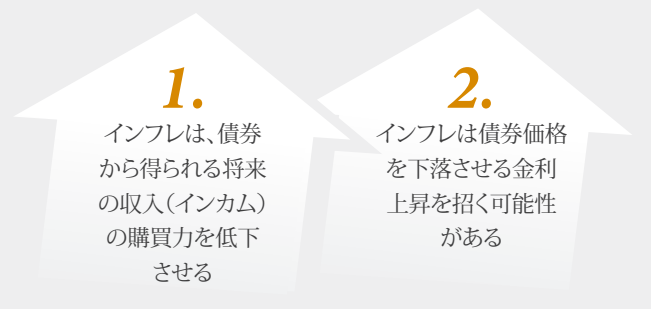


利回り曲線（イールドカーブ）

利回り曲線（イールドカーブ）は、同種の債券の金利を満期までの期間に応じて描いたものです。イールドカーブには大きく分けて次の3つの種類があります。



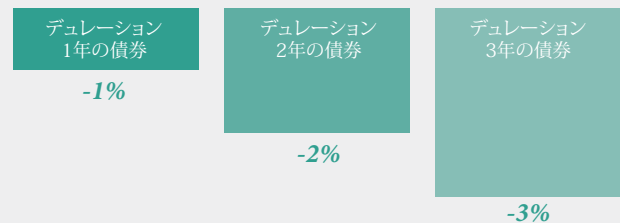
インフレの二重の脅威



デュレーション（金利リスク）

デュレーションは、金利の変化に対する債券の感応度を示すものです（単位：年）。一般に金利が上昇した場合、デュレーションの長い債券ほど価値は下落します。

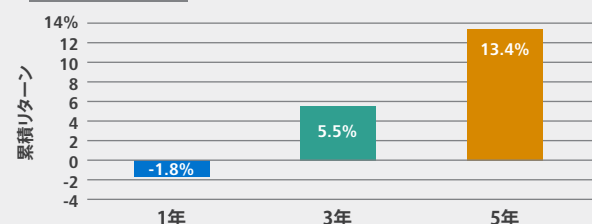
1%の金利上昇が異なるデュレーションを持つ債券に与える影響



金利の上昇

金利の上昇は必ずしも債券投資家にとって悪いことではありません。下のグラフが示す通り、金利の上昇により、短期的には既存の保有債券の価格が低下するため、債券投資の時価は下落する場合があります。しかしその後、金利上昇は保有債券の利回り上昇につながります。また、既存の保有債券のクーポンや満期で償還した資金を、より利回りの高い債券に再投資できるため、ポートフォリオを再び成長させることができます。

金利上昇のメリット



上記はご説明のための例示です。
出所：PIMCO (2016年12月31日現在)。上図は、金利が一律1%上昇し、その後不変と仮定した場合の、ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスの推定パフォーマンスを示します。クレジットスプレッドは変わらないものと仮定しています。

過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。全ての投資にはリスクが伴い、価値は下落する場合があります。債券市場への投資は市場、金利、発行体、信用、インフレ、流動性などに関するリスクを伴うことがあります。ほぼ全ての債券及び債券戦略の価値は金利変動の影響を受けます。デュレーションの長い債券及び債券戦略は、より短い債券及び債券戦略と比べて金利感応度と価格変動性が高い傾向にあります。一般に債券価格は金利が上昇すると下落し、現在のような低金利環境ではリスクが高まります。債券取引におけるカウンターパーティーの取引能力の低下が市場流動性の低下や価格変動制の上昇をもたらす可能性があります。債券への投資では換金時に当初元本を上回ることも下回ることもあります。

ここで示されている分析は、PIMCOがインデックスのリターンに理論的に影響を与えると考えるイベントシナリオを想定して説明しています。そのようなシナリオの発生を予想するものでも、これらのイベントがリスクのすべての側面を表していることを示すものでもありません。トータル・リターンは、パー・クーポンの債券からなるポートフォリオを想定し、キーレート・デュレーションを変えて推定しています。

仮定上の例、およびシミュレーションには本質的な限界があり、通常、事後的に作成されます。しばしば、シミュレーションと実績との間には大きな差異が生じます。市場全般や特定の投資戦略の実行に関連する要因は多々あり、それらの要因をシミュレーションに当たって完全に考慮することはできず、実際のパフォーマンスに悪い影響を与える可能性があります。本資料で示した結果が得られる保証はありません。

本資料は情報提供を目的として配布されるものであり、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。本資料に記載されている情報は、信頼に足ると判断した情報源から得たものですが、その信頼性について保証するものではありません。

ピムコジャパンリミテッドが提供する投資信託商品やサービスは、日本の居住者であり、かつ法律による制約のない方に対して提供するものであり、かかる商品やサービスが許可されていない国・地域の方に提供するものではありません。

運用を行う資産の評価額は、組入価値証券等の価格、デリバティブ取引等の価値、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入価値証券の発行体の財務状況や信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動による影響も受けます。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、損失をこうむることがあります。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。弊社が行う金融商品取引業に関してお客様にご負担頂く手数料等には、弊社に対する報酬及び価値証券等の売買手数料や保管費用等の諸費用がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計の金額・上限額・計算方法は、投資戦略や運用の状況、期間、残高等により異なるため表示することができません。

PIMCOは、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エル・ピーの米国およびその他の国における商標です。

本資料の一部、もしくは全部を画面による許可なくして転載、引用することを禁じます。本資料の著作権はPIMCOに帰属します。2018年

(注) PIMCOはバシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。

ピムコジャパンリミテッド

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4-1-28

虎ノ門タワーズオフィス18階

TEL: 03-5777-8150

金融商品取引業者:

関東財務局長（金商）第382号

加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業

協会、一般社団法人 投資信託協会

japan.pimco.com